

特集

あのときの決断…そして今

Hopeful Tomorrow委員会 鈴木 広隆



いよいよ統一事業に向けて佳境に入ってきた今年のJC活動ですが、一方では7月に入ると

次年度への新たな動きが始まり、この二ヶ月の間には理事長はじめ様々な役職と共に、次年度のLOMの骨格が見えてくることでしょう。
よく、組織においての一番の関心事は「人事」とあると言われます。これから二ヶ月余りはLOM内の話題もこの「人事」についての話題が多くなるのではないのでしょうか。次年度の体制がどのようなようになっていくかは分りませんが、予想通りの顔ぶれの中に周囲が「えっ」というサプライズな人材が含まれているのもまた「人事」の妙味。ぜひ、個性豊かなメンバーで組織構成をしてバイタリティー溢れるLOMにしたいだけだと思います。

「サプライズ」と言えば、私も二年前のこの時期に委員長に立候補させていただきましたが、当時を思い返すとその意欲表明も結構な「サプライズ！」だったのではないかと思います。

とにかく新会員の時にはJCに違和感を覚え続け、たまに委員会に出て行くとか何も知らないくせに先輩にも平気

で食ってかかる様な札付きの“扱にくいヤツ”でしたので、その当時を知る人は私がこの組織の中で委員長に手を挙げる事など想像もしていなかったと思います。ただ二年目の2月頃、ある先輩に「先輩ともやり合うような気持ちの強さがあるからこそ、鈴木みたいなヤツが委員長をやると面白いと思う」と言われました。予想外の言葉でしたが、組織に対してネガティブな感情しかなかった自分への期待が嬉しくて、その言葉を契機に「俺でもこの組織でやれることがあるのかも」と前向きに考え始めました。(すごい変わり身！要するに単純なんですね)。

それ以後、理事会には「自分が委員長だったらどう答えるか」と常にシュミレートしながら臨み、各委員会の動きを細かく観察し、裏に隠されている意図を推測したり、考えたりするようになり、ますます、委員長をすることへの希望を見出し、半年後には一縷の迷いもなく委員長に手を挙げることになりました。

委員長としての一年は想像以上の激務と逃れることの出来ないプレッシャーの連続でしたが、「初志を全うしたい」という気持ちだけは決して萎えませんでした。今振り返ると、その気持

ちこそがヨレヨレになりながらも最後までやり切る力になったと思います。

正直言うと、「たかがJCの委員長」と始めはどこかでなめていた部分もありました。しかし、一年通して得た経験や認識は仕事でも得られなかったものが多く、今年はそれらが仕事をする上での貴重な糧になっていることを感じるにつけ、「されどJCの委員長」という部分も理解できるようになりました。

「たいへんそうだから」とか「忙しいから」と『決断』を回避しないで、ぜひ委員長に手を挙げてください。そして、それを全うしてください。そのプロセスで苦しめば苦しむほど多くのものを手に出来ますから。

最後にあの「扱にくいヤツ」を委員長にしてくださいだった当時の木下理事長こそ、勇気ある『決断』を有難うございました。

今月の予定

7月の予定

- 2日(日) 理事会
- 7月例会(担当・渉外委員会)
- 8日(土) 地区フォーラム(諏訪圏)
- 13日(木) じゃがいも第2回コンペ
- 15日(土) 会員会議所会議(軽井沢)
- 16日(日) 飯伊少年野球大会
- 20日(木) 理事会
- 22(土)・23(日) 2006 サマコン
- 30日(土) わんぱく相撲全国大会
- 31日(日) ブロック合同個人演説会

編集後記

今、世界中はサッカーのワールドカップで盛り上がっている。4年に一度のサッカーの祭典である。我がジーコJapanはというと、『世界』というステージで1勝もできずの予選敗退である。世界レベルを痛感した大会だった。これを書いているだけで思い出して切なくなってしまう。

そして、飯田JCにおいては統一事業も結審され、参加者も集まり、事業に向け本格的に動き出している。飯田JCも『世界』というステージに立つ。そこにあるものは、机上では計り知れない何かがきっとある筈である。我々も、子供たちもそれぞれの感じ方で、絶対何かを感じるであろう。世界の中の日本、世界の中の自分、そして我が街を。ステージは違うが今回日本代表が世界を感じたように、我々も世界を感じ、何かを得たいのである。

Hopeful Tomorrow委員会

熊谷 敢

6月例会出席率

	例会	平均
執行部	86%	86%
事務局	75%	86%
渉外委員会	61%	60%
Hopeful Tomorrow委員会	76%	72%
夢企画委員会	56%	56%
全体	71%	73%